

(様式5)

## 市民意見募集手続の結果について

1 計画等の案の名称 上田市庁舎改築基本設計案

2 募集期間 平成30年6月18日(月曜日)から平成30年7月18日(水曜日)まで

3 実施結果

(1)件数 24件(7人)

(2)提出方法

持参	郵便	電子メール	ファクシミリ	計
1件(1人)	0件(0人)	22件(5人)	1件(1人)	24件(7人)

4 意見に対する市の考え方

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	景観づくり	大手町通りの景観づくりについて ・大手町通りの関係者全員により、大手通りのイメージを策定し、それに合わせた市庁舎の外観を決めていただきたい。	庁舎の外観については、大手町通りの景観に配慮したデザインとして設計者から提案があり採用しました。 なお、大手町通りの景観については、電線地中化の事業に併せて担当課で説明会を開催します。周辺住民、関係者の皆様からのご意見も参考にしながら検討してまいります。
2	食堂	来庁者や市職員の昼食、災害時の炊き出し等はどのように対応するのか。	食堂については、来庁者や職員も含め利用者が減少傾向にあり、厨房を備えた食堂の設置は考えておりません。災害時の炊き出しは避難所における対応を基本としますが、地下に設置する食堂内で可能な範囲での対応も検討してまいります。
3	構造計画	免震構造について ・市庁舎に免震構造を取り入れる必要はないのではないか。 ・柱の少ない空間を達成する為ならば耐震と免震のインシヤルトとランニングコストとの比較を提示していただきたい。	新本庁舎は、平常時の利用者の安全確保だけでなく、震災発生直後から災害対策活動の拠点施設として、また、その後の行政機能を維持する観点から、大規模地震に対しても倒壊などせず、庁舎としての役割が継続できる建物構造とします。 このため、地震による振動が伝わりにくい構造により、建物設備の機能の被害が最小限に抑えられることが必要とのことから、免震構造を採用しております。

3		床構造にプレキャスト床版を取り入れてもらいたい。	床構造については、実施設計の中でコスト面や構造の内容を検討し決定します。
4	議会エリア	障がいのある方がいつでも傍聴できるよう、スロープで傍聴席に移動できるよう配慮するとともに、議場が見渡せるようにしてほしい。	傍聴席の出入口にはスロープを設け、車いす用の傍聴スペースを確保するとともに、議場との高低差を設けて全体が見える設計となっております。
		コミュニケーション障がい者が傍聴できるよう、音声反響し聞き取りにくい状況に配慮してほしい。	議場での音声聞き取りやすいように、反響に配慮した設計とする予定となっております。
5	車両通路	連結棟の地下から上田高校側への車両出口を設けることで、大手門方向への右折車両を減らせるのではないかと。	検討した結果、コストの面から連結棟の地下から車両を通すことは考えておりません。
6	障害者用駐車場	障害者駐車場は台数とスペースを広くしてほしい。	車いす使用者優先駐車区画を3台分、障がい者等優先駐車区画を3台分確保します。スペースについては、基準で定められた必要な寸法を確保します。
		駐車間隔をドアを開けて車いすをおろしてもゆったり移動でき、スロープをおろす長さが確保できるスペースにしてほしい。	車いすで乗り降りし、ゆったり移動できる幅で、スロープをおろしても問題のない長さのスペースを確保します。
		雨等が降っても安全に庁内に移動できるよう配慮してほしい。	車いす使用者優先駐車区画と障がい者等優先駐車区画に屋根の設置を検討しております。
7	トイレ	障がい者のトイレは広くしてほしい。	障がい者の方も利用する多目的トイレは、障がい者の方も利用しやすいスペースを確保します。
		トイレ設置前に障がい者がそれぞれの立場で検証したい。	実施設計の段階で検証できるよう検討してまいります。
		女性のほうが混みやすい状況にならないよう、面積比を含め構成を練ってほしい。	トイレの個数等については、男女比を考慮し設置いたします。 なお、多目的トイレも各階に設置します。
8	エレベーター	エレベーターは広くしてほしい。	障がい者の方も利用するエレベーターは、障がい者の方も利用しやすいスペースを確保します。

9	窓口	各課の窓口は車いすでもアクセスしやすいようにしてほしい。	現庁舎より広くアクセスしやすい設計にしております。
		関連する業務を逐一担当部署に回るのではなく、その場で連携を取れるように簡素化してほしい。	市役所に来られた方にわかりやすく効率的なサービスができるよう、ワンストップサービスを目指します。
10	通路	通路に物を置かないでスムーズに移動できるようにしてほしい。	現庁舎はスペースが不足をしておりますが、新庁舎は通路のスペースを広くします。
11	案内表示	通路等の案内表示は点字、掲示とともにバリアフリー表示にしてほしい。	誰もが分かりやすい、大きくて統一された表示方法、内容が一目でわかる案内表示を目指してまいります。
		平面図における場所などの表現について、外来語の多用は避けて、中学生くらいの人や高齢者にもわかりやすい表現にしてほしい。	誰にも使いやすく分かりやすい案内表示とし、表示方法や内容が一目でわかる書き方にするようにしてまいります。
12	水飲み場	水飲み場があると嬉しい。	設置場所等について検討してまいります。
13	懇談会	新庁舎建設前に障がいの当事者を交えた懇談会等の場や意見を述べる環境を確保してほしい。	障がい者の皆さまなど、多くの市民から意見を聴く場を設けられるよう検討してまいります。
14	その他	内装工事に移った時点で障がい者にとって利用しやすいかの検証を公募して行ってほしい。	建設工事中心に見学できるよう検討してまいります。

※類似の意見はまとめて回答しているため、提出件数と一致しない場合があります。